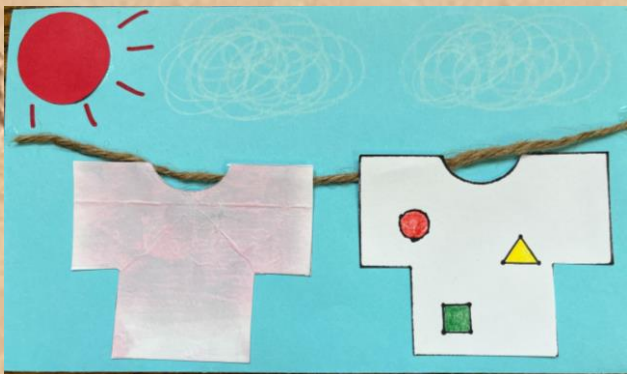
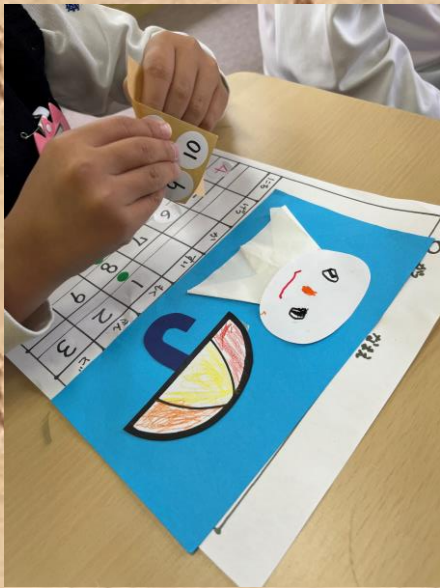


Linkage

2023
Autumn
Vol. 17



トピックス

日頃より当法人の運営にご支援・ご協力いただき、関係者の皆様には感謝申し上げます。

【表紙の作品紹介】

今回のトピックスは、児童発達支援をご利用で就学を控えるお子様方が毎月作るカレンダーの紹介です。日付を通し数字に興味を持ったり、通所する日には目印となるシールを自分で貼っています。

単なる制作と思われるかもしれませんが、制作の過程には指先を使う練習や、色鉛筆やマーカーを使い握り方の練習といったねらいなど楽しみながら集中できる時間を持てるようにしています。

またいろいろな素材や制作の仕方なども取り入れながら、感触の違いや制作のもつ世界観を楽しんでもらえたらと思っています。

2 活動報告

早いもので今年度ももう半分が過ぎました。ご利用の皆様と共に過ごした夏の活動を各事業部より報告致します。

啓蒙活動

気候変動による大規模災害は世界どこに住んでいようと、今や避けては通れない重要な課題になっています。私もこの3か月間は、自らが被災した場合、リンケージの利用児者様やスタッフが被災した場合、そして地域の皆さまが被災した場合に心理職として、NPOの代表としてどう行動するかの準備をすすめた期間でした。

大規模災害時に活動されたDMATやDPAT、他多職種の方々の研修会やワーキンググループに参加する中で、もっとも強く心に残ったことは「被災者の方や地域の自然回復のじゃまをしないこと」でした。つつい眠れない、食べられない、イライラするなど通常と異なる状況に苦しんでいらっしゃる方を見ると、その苦悩を消し去ることが大切なのではないかと考えていました。経験者の方から教えていただいたのは、大切なのはご本人や地域の地理的、経済的、文化的背景を尊重し、刻一刻と変化する被災者の方のニーズをとらえ、必要な時期に必要なものを調整できることであり、そのために地域のつながりを密にすること。そして症状は敵に回すものではなく、辛いけど自分が衝撃を受けていたことに気づいたり、回復するための工夫に焦点を当てる支援が必要であるということでした。災害時であろうと平時時であろうと個人の回復力や生きる力を信じ、地域の持つ可能性にまなざしを向けたいと思います。

児童発達支援

■あさがおの紙染めを行いました。

5月の中旬、年長クラスを中心に、あさがおの種まきをしてから順調に芽を出し、葉を茂らせ、何色ものかわいらしい花が咲き、今年の猛暑に涼を感じることができました。

そのあさがおの花を使って、年長クラスで紙染めをいたしました。皆それぞれの色合い、それぞれの模様、どれもみんなちがってみんないい、素敵な作品になりました！



■調理活動を行いました。

夏休み最後の週は、どの曜日もおたのしみ週間として、調理活動を行いました。

パフェ、焼きそば、ホットケーキ、どのクラスも楽しみながら活動ができました。

おいしいものが食べられる楽しい活動が待っていると、活動への切り替えがいつもより早くできたり、「順番を待つ」ということが苦手なお子さんも、自分の番が来るまでしっかり着席して待てたり、「今までキャベツはきれいだったけど食べたらおいしかった！」など、お子さんたちのキラリと光る一面がみられました。

今後もお子さんたちの持っている力が発揮できる、楽しい活動を考えていきたいと思っています。



放課後等デイサービス

■夏休みは、楽しく、リラックスした雰囲気でお過ごししながら子どもの成長をサポートするいい機会です。そこで、夏休みの活動についてお話をしたいと思います。

そらまめでたくさんの活動をしました。プラネタリウム鑑賞や買い物訓練、イオンへの外出、おもちゃ王国への冒険旅、宿題祭りなどのいろいろな活動をする事ができました。

夏休みの活動は、自分でできることや日常生活のスキルを強化することも大切です。食事の準備や片付け、自分のものを整理する方法など、将来役立つスキルを身につけられます。また、お友だちと活動することにより、お互いに話す練習や遊びを通じて、ソーシャルスキルを伸ばすこともできます。夏ならではの行事に参加したり自然を観察したりすることで、体を動かす楽しみや新しい発見が待っています。来年もたくさんの楽しみを見つけたいと思います。



■5月、6月の小学生ソーシャルスキルクラブではイオンモール高崎やラウンドワンなど外出活動を行いました。子供たちの弾けた笑顔にこちらも自然と笑みがこぼれました。

中高生ソーシャルスキルクラブでは4月からクトゥルフ神話TRPGという自分のキャラクターを演じながら物語を進めていく遊びが大ヒットしています。

土曜日のソーシャルスキルクラブは子供たちの意見の中から活動を決めています。皆意見の発表に対して積極的になってきて行ってみたい場所が多く出てくるようになりました。

今後も皆様が楽しめるような活動を提供できればと思います。



就労移行支援・就労定着支援

【作業トレーニング】

今期の作業トレーニングでも、パソコン作業・スキャン作業・モノづくり・ダンボール組み立てなど協働作業や、その他ご本人の得意なことに取り組んでもらいました。取り組んでみた感想やスタッフ側からのフィードバックを、月1回おこなわれる月次振り返り面談でじっくりとお話しています。

リンケージの作業トレーニングは、ただその作業ができるようになることだけが目的ではありません。作業を通じて、ご本人の認知特性・行動特性をご本人と一緒に理解し、社会で力を発揮しやすい作業や環境を見つけていくことをベースに考えています。スタッフ一同も、トレーニング生の役に立つ作業は何か、他にできることはないかと日々相談し知恵を出し合っております！

【職場見学・職場実習】

現在、就職活動の段階にある方が数名おり、職場見学や職場実習に行っています。実習に行ってきた方には、講座等の時間になるべく行ってきた感想を他のトレーニング生に共有してもらうようにしています。同じトレーニング生からの話は、聞いておこうという気持ちが皆さん強いです。実際の体験から語られることは、いろいろな情報が盛りだくさんで、とても参考になるからです。

このような横の関係性も、リンケージの就労トレーニング場所に来ている意味の一つだと思います。お互いに切磋琢磨していけるような機会も大事にしています。

【月次振り返り面談の実施】

今年度より、月末にひと月の作業や講座の取り組みを振り返る「月次振り返り面談」を実施しております。ひと月トレーニングに取り組むと、不安に感じたこと・気になったことなどがいろいろ出てくるものです。それを溜めておくと、気がかりが増えていってしまいます。また、スタッフ側からも「あの時大変そうだったけれど本人はどう感じているのかな」「あの時すごく意欲的だったけれどやりやすい作業だったのかな」など、聞きたいこともたくさんあつたりします。毎月その都度話し合っておくことで、不安を解消し、翌月のトレーニングに取り組みやすくなると考えています。皆さんと一緒に話し合いながら進めていきたいと思えます。

相談支援

皆さまこんにちは。受給者証の申請や更新、モニタリングに担当者会議など、日頃よりご協力ありがとうございます。皆様のご協力により手続きがスムーズに進められていること、改めて感謝申し上げます。今回は「受給者証の更新手続き」について、改めてお話させていただきます。

※高崎市に住所がある方のケースなので、高崎市以外の方はこの限りではありません。

高崎市では、福祉サービス利用開始後の最初の誕生月に受給者証を更新します。

更新の流れとしては、

- ①誕生月の前月に市役所から受給者証更新の案内が届きます。
- ②受給者証更新の案内が届き、引き続きサービス利用継続の希望があるある場合には、担当の相談支援事業所に連絡をお願いします。
- ③医師意見書が必要なタイミングの場合は、相談員と確認し、主治医に意見書の作成を依頼してください。
- ④相談員が利用事業所に訪問し、モニタリングを実施します。
- ⑤相談員がご家族にもモニタリングを実施し、利用者のニーズを確認したうえで、新しい支援利用計画案を作成します。
- ⑥利用者に支援利用計画案について説明し、了承が得られれば計画案にサインをいただきます。市役所への申請書のご記入もお願いします。医師意見書も相談員にお渡しください。
- ⑦市役所に、支援利用計画案、申請書、医師意見書（必要な場合）を相談支援事業所から提出します。
- ⑧新しい受給者証がご自宅に届きます。

面談等でお時間をいただきますが、ご協力のほどよろしくお願い致します。

また、ご相談やお気付きの点等ございましたらご連絡ください。

3 情報提供

この欄では毎回皆様が皆様らしく生きるためのヒントとなるような情報などをお伝えできたらと思っております。

今回は、本の紹介をさせていただきます。『あたし研究 自閉症スペクトラム～小堂モコの場合』という本です。こちらは、自閉症スペクトラムの当事者である作者が自分の経験や体験をもとにわかりやすい絵で自閉症スペクトラムについて説明している本です。この本の特徴は、1つ1つのエピソードがイラストを用いてイメージが付きやすく説明されている後に、精神科医の先生の解説欄があることです。そして本の最後に作者の目線からの解説と読者に向けてのメッセージがあります。

こちらの本は、自分自身に対する理解として、またご家族や支援者が当事者のことを知る手段としても役に立つ一冊となっています。

「私を支えるもの」という文の中に、「ASD、そうではないに関係なく、君が愛しい、君が大好き、というメッセージを言ってほしい、示してほしい。これほど支えになるモノはない」とあります。本人にこの感覚を持って接すること、それが本人達が困難を乗り越えるときの小さな支えになれば、と感じました。

第2弾で「あたし研究2」も出版されています。ご覧になりたい方はリンケージの就労移行支援にございますので、スタッフまでお声がけください。



発行日 2023年 10月 1日 発行

発行元 NPO法人 リンケージ

TEL : 027 - 345 - 7390

群馬県高崎市江木町 979 - 3

FAX: 027 - 345 - 7391 <http://www.npo-linkage.net/>